国際ロータリー第 2620 地区　藤枝南ロータリークラブ会報　2018 年 11 月 16 日（金）No 019

Rotary
インスピレーションになろう
2018-19 年度 RI テーマ
BE THE INSPIRATION
国際ロータリー会長
バリー・ラシン

Weekly Bulletin
藤枝南ロータリークラブ　会報

例　会：毎週金曜日
会　場：小杉苑　藤枝市青木 2-35-30
ＴＥＬ：054-641-3321
事務局：藤枝商工会議所内　藤枝市藤枝 4-7-16
ＴＥＬ：054-646-3919　ＦＡＸ：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2018-19 年度
会長：飯田敏之　副会長：渡邊芳隆　幹事：漆畑雄一郎　副幹事：森竹正晃

例　会　第１２９７回：　通常例会/小杉苑
ソング　四つのテスト、線路はつづくよどこまでも：ソングリーダー　佐野博己君

■ 会 長 報 告　飯田敏之君

皆さんこんにちは。
本日のゲストスピーカーは皆さんも良くご存知の山田辰美先生です。山田先生には１３年前の１５周年事業で「里山」をテーマにして環境保全を我々と子供達に教えて下さいました。
最近では音羽町の居酒屋「青ちゃん」や娘さん夫婦がやっている「鳥しげ」でお会いしていましてその都度、是非再び例会で卓話をお願いしたいと話をしておりました。それが叶って大変嬉しいかぎりです。
森林破壊、土砂流出、川の水不足と今の瀬戸川はどんな状態でしょうか？それでも川には魚を求めて川鵜ではなく海鵜がやってきます。蓮華寺池には白いカモメが飛んできます。
あれから１３年、我々が里山の保全を再び考えなくてはならない時が今だと思います。
先生の話を楽しみに聞かせて頂きましょう。
以上、ご挨拶とさせて頂きます

■ 幹 事 報 告　漆畑雄一郎君

ハイライトよねやま、藤枝市国際友好協会の案内、２０１９年国際ロータリー年次大会「ハンブルグ大会」案内を回覧いたします。

■ 出 席 報 告　加藤智之　君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
40／50　80%	44／50　88%

（1）欠席者（事前連絡とメークアップをどうぞ）
〇阿井君　〇植田君〇小池君　〇竹田君　江﨑君
川口君　桑原君　佐野裕君　中村君　渕脇君
（2）メークアップ者
阿井誠君（地区）稲葉俊英君（藤枝）
佐野芳正君（藤枝）早川清人君（藤枝）

■ スマイルＢＯＸ　古川賢吾君

・結婚記念日祝１８周年です。まだまだ愛し合います。ありがとうございました。加藤智之君
・会員誕生日プレゼントありがとうございました。　桑原茂君
・結婚記念日のお祝いありがとうございました　稲葉俊英君
・１１月１０日で６０才になりました。誕生日プレゼントありがとうございました。
プラス、結婚して２８回目の結婚記念日を１１月２８日にむかえます。女房のしりに敷かれつつあります！結婚記念日の写真を撮ってきます！ありがとうございました。　鈴木寿幸君

・本日５０才になりました。誕生日、妻の誕生日、結婚記念日プレゼントありがとうございました。　　鈴木健夫君

スマイル累計額　　３５１，０００円

■ 外 部 卓 話

山田辰美様（常葉大学名誉教授）

「里山保全の現状と今日的意義」

中山間地に展開する里山の自然環境は、過疎や少子高齢化に伴う人間活動の減少によって、どうように変容しているか？山間の農地や里山は放棄され、森や野生生物などの自然は再生し好転していると楽観視される方もいるだろうが、実はメダカやトノサマガエルなどの姿が消え、放置竹林の拡大や野生鳥獣（獣害）の問題など荒廃の程度は深刻化している。

戦後、化学肥料(硫安、過リン酸石灰など)や農薬が普及し、人糞の施肥、緑肥、刈敷などは行われなくなった。その結果、土地（地力）の悪化や病害虫の多発（害虫の薬剤耐性が高まる、農薬散布で害虫が増加するリサージェンス）が引き起こされ、さらに安心な作物（食の安全性）を求める消費者の強い要求もあり、有機栽培への期待は高まった。こうして、農業は農薬や化学肥料の使い過ぎの害に気付き、省化学肥料、省農薬、省エネ、省機械の低投入型農業である環境共生型農業へと舵をきり始めたのである。これからの持続可能な社会は、地域自給型で農林業中心の自然共生社会であるという考えもある。

今日、新たな価値観として生物多様性の保全が世界規模で叫ばれるようになった。環境省がまとめた生物多様性国家戦略には、生物多様性の危機として４つ掲げられている。その中で、第２の危機は人間活動の減少＝里地里山の放棄によるもので、日本ならではのものある。中山間地に展開する里山の自然環境は、過疎や少子高齢化に伴い　山間の農地や里山が放棄され、自然は荒廃の度を増している。都市住民もこぞって里地・里山との関りを持って欲しいものだ。

これまで社会は生産効率優先の工業社会として、発展してきたが、地球温暖化や生物多様性の危機などの環境問題が明らかになり、ようやく人類は資源と地球環境の有限性の制約に気付かされたのである。石油ピークと呼ばれる地下資源枯渇の危機や、地球温暖化を回避するために、脱石油社会が模索され、自然エネルギーへの転換が期待されている。シューマッハの提唱する「自然の営みに関わる農系活動が、人間の労働と経済の姿を本来あるべきものに戻す」という思想に立ち返り、生命系の復権とも言える農系社会への回帰が求められる。世界は経済効率優先の工業社会から、持続可能な社会の模索を始めている。今後の真に豊かな地域社会の在り方をどうデザインしたら良いのかについて、皆さんと共に考えて行きたい。

■ 今週の一言　　内藤浩光 君

内藤浩光と呼んでください。

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
11/30(金) 第 1298 回	早朝例会①	
12/7(金) 第 1299 回	クラブ年次総会	理事会
12/14（金） 第 1300 回	会員卓話	小杉苑
12/21（金） 第 1301 回	年忘れ夜間例会	ベルヴィロワレーヌ

倶楽部ネーム一覧

	氏名	クラブネーム
1	飯田敏之	カルロス
2	漆畑雄一郎	バタヤン
3	渡邊芳隆	次男のナベちゃん ガス屋のナベちゃん
4	森竹正晃	モリタケ
5	鈴木健夫	タケオ
6	杉山茂範	モゲ・シゲさん
7	平原　望	ひらはら・ひら・ぺー
8	鈴木寿幸	コトブキさん
9	藪﨑　茂	やぶ
10	鈴木照竟	ショウキョウ
11	杉浦　聡	さとる
12	富澤静雄	会長
13	小林正敏	マーちゃん
14	内藤浩光	内藤浩光

（担当／杉山君）